

アセスメント票

受付 No. 1 氏 名：近藤 健一 訪問年月日：平成28年8月1日		アセスメント対応状況 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問 (8月 1日) (月 日) (月 日) <input checked="" type="checkbox"/> 外 来 (月 日) (月 日) (月 日) <input checked="" type="checkbox"/> 電 話 等 (7月25日) (月 日) (月 日)			
訪問者所属：さくら地域生活支援センター 訪問職員：田中 太郎		訪問目的（事前に具体的に記入） サービス等利用計画（案）作成の為のアセスメント			
障 害 者 本 人 の 概 要	生活歴	<p>平成9年8月、千葉縣市原市H町にて出生。9ヶ月経っても首が座らないため、平成10年6月に近くの〇△総合病院を受診したところ知的に遅れがあるとの診断を受ける。平成11年1月頃、歩き初めが遅いため同病院を受診する。いろいろな検査を行った結果、両下肢軽度機能障害（7級）と診断される。翌月には移動機能障害（5級）の診断を受け、やがて身体障害者手帳の5級を取得する。同年12月には母親の声かけになかなか反応がないため、耳の聞こえが悪いと感じて京大総合病院で検査を受けると、感音性難聴4級と診断される。現在は右耳に補聴器をしていて、左耳はほとんど聞こえていない状態。また、脊椎側彎症と身体障害者手帳には追記されている。目は内斜視で立体感の感覚がわからないので、時々眼鏡をかけている。</p> <p>幼稚園は、地元障害のある幼児を受け入れる園があったので一般の幼稚園に通ったが、地元小学校の入学は難しかったため、療育手帳の申請をしたところ、A-1と判定され、バスで30分かかる「すぎな特別支援学校」に通学することとなる。小学部、中学部、高等部と通い、平成28年3月に高等部を卒業する。卒業時には障害福祉サービス事業所に通う話もあったが、現状は在宅生活をしている。</p>			
	障害者手帳	<input checked="" type="checkbox"/> 身障手帳（2種5級） <input checked="" type="checkbox"/> 療育手帳（Aの1） <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳（ 級） <input type="checkbox"/> 取得していない	年金	<input type="checkbox"/> 障害基礎年金 級 <input type="checkbox"/> 障害厚生年金 級 <input type="checkbox"/> 国民年金 <input type="checkbox"/> その他年金（ なし ）	
	生活保護の受給	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> なし			
	障害支援区分	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4 <input checked="" type="checkbox"/> 区分5 <input type="checkbox"/> 区分6 <input type="checkbox"/> 未認定			
	病歴・障害歴	年 月	事 項	年 月	事 項
	H11.1	疾病による両下肢軽度機能障害	H11.12	感音性難聴	
	H11.2	移動機能障害・身障手帳5級	H16.3	知的障害	
医療機関利用状況〔現在の受診状況、受診科目、頻度、主治医、どの疾患での受診〕	京大総合病院 ・眼科、年2回、吉田医師、内斜視の診察 ・整形外科 年2回、山本医師 側彎症の診察 ・耳鼻科 年1回、米田医師 難聴の診察 ・内科 月1回、坂本医師 便秘の薬処方 ・神経内科 不定期、駒田医師 安定剤（屯用）処方 *服薬状況（服薬名・量） ラキソベロン2T（便秘解消薬）を処方されている。就寝前に服用している。				
医療保険 被保険者（本人・家族）	<input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input checked="" type="checkbox"/> 健康保険 記号 番号 障害者医療： <input type="checkbox"/> 更生医療 <input type="checkbox"/> 育成医療 <input type="checkbox"/> 精神通院医療 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
現在使用している福祉用具：補聴器（感音性難聴の為）					
生活状況〔普通の1日の流れ〕 ※週間生活表が必要な場合は別紙に記入	本人 6：00起床 7：30朝食 12：00昼食 18：00夕食 19：00入浴 22：00就寝				
介護者	父親は月曜日から金曜日まで仕事に出ている（横浜工業）。高血圧症を持ち通院中。腰痛持ち。土日は本人の余暇の為、車を運転し外出の付き添いを行う。主にデパートに行き、本人が好きな物を購入する。土日に外出しないと本人が自宅でイライラするため雨の日でも外出している。母親は専業主婦。腰痛持ち。土日は父親と一緒に本人の外出に付き添う事が多いが、腰痛がひどい時や体調が悪い時は自宅で留守番をしている。				

利用者の状況

1 生活基盤に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
経済環境	特別児童扶養手当支給	なし	不要	気づいたこと 気づいたこと 2級該当 月 34,300 円
住環境	持ち家	なし	不要	父親名義 ローンは完済

2 健康に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
服薬管理	母が管理	なし	不要	気づいたこと 気づいたこと 母親が管理している。自分では飲む事を忘れてしまう。事業所では管理して欲しい。
食事管理	母が管理	なし	不要	母親が行っている。
病気への留意	不調の訴えは難しい	あり	要	体調不良を訴える事も困難の為、介助が必要。熱を出すこともある。
体力	維持している	あり	要	両下肢機能障害のため、激しい運動はできない。また、転倒等がないか見守りが必要。

3 日常生活に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 本人の環境と制限
	実態	希望	援助の要 ・不要	
衣類着脱 (上衣) (ズボン等)	一部介助	なし	要	気づいたこと 気づいたこと 前後・裏表については間違いがある為、支援が必要。ボタンを付ける事が苦手。
整容行為	全介助	なし	不要	母親が電気シェーバーで剃るが抵抗する事もある。床屋では髪は切れない為、自宅で母親がバリカンで切っている。
食事行為	見守り	なし	不要	詰め込んでしまい、嘔吐することもある。大きな食べ物は一口大に切らないと無理。
排泄行為 (排尿) (排便)	一部介助	なし	要	便の拭き取り不十分で下着を汚す事がある。夜尿が時々見られる。便秘気味であり、便通を良くする薬を服用している。
睡眠	自立	なし	不要	夜間はよく眠れている。
入浴行為	全介助	なし	要	洗う行為はあるが不十分であり、泡が付いたまま風呂場から出て来てしまうことがある為、一通り介助者が洗う。両親ともに腰痛があり大変になってきた。
ベッドへ移乗 (床) (車いす等)	一部介助	なし	要	段差につまずく事がないか、転倒しないよう付き添いが必要。
屋内移動	一部介助	なし	要	段差につまずく事がないか、転倒しないよう付き添いが必要。
調理(後かたづけを含む)	全介助	なし	不要	自分ではできないため、母親が行っている。
洗濯	全介助	なし	不要	母親が行っている。
掃除	全介助	なし	不要	母親が行っている。
整理・整頓	全介助	なし	不要	母親が行っている。

ペットメイキング	全介助	なし	不要	母親が行っている。
書類の整理	全介助	なし	要	介助者が行っている。
買物	全介助	なし	不要	介助者が行っている。購入したい物を手に取る事はできる。
衣類の補修	全介助	なし	不要	介助者が行っている。
育児	非該当			

4 コミュニケーション・スキルに関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
意思表示の手段	簡単な言葉で話す	なし	不要	「おはよう」といった簡単な発言はある。しかし、難聴や発音がはっきりとせず、なかなか相手にわかってもらえなくてイライラすることがある。
意思伝達の程度	上手く伝えられない	なし	不要	表情や唸り声のトーンで介助者が汲み取るが、全てを理解する事は困難。
他者からの意思伝達の理解	日常的なことはある程度可	なし	不要	簡単な単語（食事・トイレ）であれば、ある程度は理解している。
情報伝達機器の使用	使用していない	なし	不要	

5 社会生活技能に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
対人関係	難しい面あり	あり	要	自ら進んで他者と関わる事はない。大人しいが、興奮すると暴れてしまう。物を投げる、壁を叩く、人を突き飛ばす、叩く事もある。
屋外移動 (近距離移動) (遠距離移動)	付き添いが必要	なし	要	場所の理解ができない為、家族が付き添っている。
金銭管理	母が管理	なし	要	母親が管理している。
危機管理	難しい	なし	要	自ら安全に留意する事は出来ない。

6 社会参加に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
レクリエーション等	していない	なし	不要	特に行っていない。
趣味	外出して買物	あり	要	外出する事。父親の車でデパートに買い物に行く事。
旅行	していない	なし	不要	旅行に行きたいが、父親は腰痛のため、なかなか行くことができない。
当事者団体の活動	していない	なし	不要	行っていない。
各種社会的活動	していない	なし	不要	行っていない。

7 教育・就労に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実 態	希望	援助の要 ・不要	
教育	特別支援学校卒	なし	不要	すぎな特別支援学校高等部卒業
就労	就労歴なし	なし	不要	

8 家族支援に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実 態	希望	援助の要 ・不要	
家族 ① 情報提供 ② 介護負担軽減 ③ 家族関係調整 ④ 社会参加	①情報が少ない ②介護負担あり ③特に問題なし ④していない	あり なし なし なし	要 要 不要 不要	① 福祉サービスについて教えて欲しい。 ② 家族に何かあったときに、本人を見て欲しい。

本人の要望・希望する暮らし

（下を向いて黙りこんでしまう）

外出して買物をするのが好きな様子。

木作業など、慣れていることは好んでできる。

家族の要望・希望する暮らし

（両親）

通所の施設に通い、自分ができる活動を見つけて楽しく過ごして欲しい。

身体を動かし、体力をつけて欲しい。

家族の用事や緊急時に本人を預かって欲しい。

福祉サービスのことを教えて欲しい。困った時に相談にのってもらいたい。

関係職種からの情報

・すぎな特別支援学校 原田先生

環境に慣れてくると、友達等に対して他害等が出てくることがあるかもしれない。原因がわからず突発的なこともある。

[家屋の見取り図] ■持ち家 □その他

W C	浴室	洗面 所	本人の 部 屋	洋室	和室
廊 下					
	和 室	キッチン	居 間	倉庫	玄 関

担当者所見（注目すべき点、気になる点を含む）

自宅では自分の思い通りにならないと興奮し、母親を叩いてしまったり、髪の毛を引っ張る等の暴力、物を投げってしまう行為がある。自分の訴えが相手に上手く伝わらないと怒りだす等、短気な一面もある。突然車の中で暴れ出す事もあり、車内のバックミラーをもぎ取って外に投げってしまう事や車を叩く、ガラスを叩く行為もある。

以前通っていた「すぎな特別支援学校」では男性の先生がいる場合は怒りだす事はないが、女性の先生だけの場合、作業物品を投げる事や服を脱ぎだしてしまう等の行為があった。その為、相手を見て行動を起こしていると考えられる。また、他生徒とトラブルになることあり、叩いたり、突き飛ばしたりしてしまうことがあった。

身体面で配慮する事（側彎や内斜視、難聴）があり、上記の行動面の様子を見ながらも、身体面にも注意をして保護者と連絡を取り合う必要がある。

今後は早く通所事業所に慣れ、通いながら体力をつける事、本人にとって生きがいを持って生活ができる環境を作っていく事が必要と感じる。また余暇的なサービスをすすめながら、介護者の負担軽減を図る必要もある。